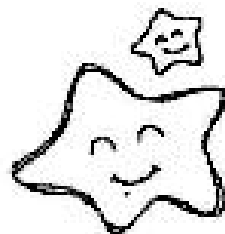


QSK

にぬふあぶし

No.306 <sup>ね</sup>子の方向の星(北極星)



## 「沖縄復帰50周年記念式典」に参加して

5月15日(日)、沖縄県と日本政府主催の「沖縄復帰50周年記念式典」がコンベンションセンターで開催され参加した。

コロナ禍とあってかいろいろな制約があったが、プログラムは淡々と進められ、盛大に祝うような雰囲気ではないように感じた。

那覇高等学校(我が母校)合唱部が出演。50年前の式典にも出演していたとのことなので、当時高校3年の私の同級生たちも歌っていたと思うのだが、私自身は当日の事を覚えていない。

会場の外では「記念式典開催反対」の声が響き、日本における沖縄の置かれている複雑な状況を表していたのが印象的だった。

「復帰」とは言え、帰るべき「祖国」だったのか、「沖縄と本土」と表現されるのだから沖縄は「本土」に復帰したのではないだろうし、「施政権返還」の表記も分かりにくいし、捉え方も沖縄側と日本側でもかなり違うように感じている。果たしてこれからの沖縄はどうなっていくのだろうか。(山田 圭吾)



再掲

### ■ リモート版「家族による家族学習会」参加者募集 ■

全5回 (9/10・10/8・11/12・12/10・1/14)

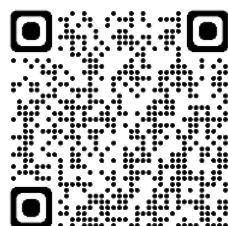
時間: 13時~16時

内容: テキストと対話を通して統合失調症について学びます

場所: オンライン(ZOOM) 詳細: 沖福連ホームページにて

参加対象者: 統合失調症などの精神疾患のある方をご家族に持つ

沖縄県在住者で、全5回を通して参加が可能な方。



## 『心のバリアフリー作品展』開催のお知らせ

沖縄市では、平和の尊さを広めるため、8月1日～9月7日を平和月間と定めており、趣旨に賛同した市民、地域、団体、企業を募集し、平和の推進を図っています。

支援センターおきなわでは平和月間の賛同企画として、障がいの有無や老若男女に関わらず、作品を通して生きていることの素晴らしさや自己表現の可能性を感じてもらうため、“心のバリアフリー”という視点から、「日常の生活の中で感じる平和」を考えていくことを目的として、『心のバリアフリー作品展』を例年実施させていただいております。昨年は、コロナ感染拡大防止のため、会場使用が叶わなかった経緯もあり、1か所だけでの展示となりましたが、今年は下記の日程・会場3か所での移動展を開催させていただく予定です。



写真は昨年の作品です。今年も素敵な作品をぜひ、足をお運びになり、ご覧になってください。

### 開催日時及び会場

- |                        |                                 |
|------------------------|---------------------------------|
| 2022年8月3日(水)～8月12日(金)  | 沖縄市立図書館<br>沖縄市中央 2-28-1 BC コザ1階 |
| 2022年8月15日(月)～8月19日(金) | 沖縄市役所市民ギャラリー<br>沖縄市仲宗根町 26-1    |
| 2022年8月22日(月)～8月26日(金) | 沖縄市福祉文化プラザロビー<br>沖縄市高原 7-35-1   |

## 沖福連・定例総会のご報告

6月24日(金)、沖福連の定例総会がありました。昨年同様、書面での参加をベースに少人数での開催です。久しぶりに会議室のパーテーションを開放し、またオンラインで参加する理事もあり、ひとりひとりの協力のおかげでソーシャルディスタンスの確保もしっかりと行なうことができました。



議案としては、2021年度の事業報告および決算報告、2022年度の事業計画と年間の予算組み、また監査報酬等にかかる法人規程の見直しなどがありました。

承認された決算書や役員報酬規程などは沖福連のホームページからもご確認いただけます。

## 九州運輸局へ交通運賃割引の要望を行ないました

みんなねっと九州・沖縄ブロックの各県代表にて、7月21日(木)、九州運輸局へ精神障がい者の交通運賃割引に関する要望書を提出し、意見交換を行ないました。

協議はオンラインで実施されて、各県連からは17名、九州運輸局からは8名の参加がありました。

近年の推移としては、2020年6月、国会衆参両院の国土交通委員会において、精神障がい者交通運賃割引の請願が採択。翌2021年6月には、赤羽前国土交通大臣から、「精神障がい者割引の導入促進」について、「取組の具体的な方向性や目標等を早期に定め、その実現に向けた検討を開始すること」と大臣指示がありました。精神障がい者にも他障がいと同等のサービスが提供されるべき、という認識は全国的にも醸成されてきていると感じます。

この要望活動は九州・沖縄ブロックとして毎年続けてきているもので、途上ではありませんが、参加者からは「毎年続けていることが少しずつ前進していると感じられ、感動があった」と、声を上げ続けることの大切さを実感する感想も聞かれました。

今年のみみんなねっと九州・沖縄ブロック家族会研修会は、大分県大会！  
会場：別府市 11月17日・18日 (オンライン併用のハイブリッド開催予定)

## “繋がっていくから、分断していく”

本の紹介コーナー

著者の永井氏はソマリアなどの紛争地で、テロリストや投降兵らの脱過激化といった平和活動を行なっている。そのような紛争地にかぎらず、社会のなかで、どうしても他者から共感されない存在がある。

若い女性よりも中年男性は共感されにくい。美しいものよりも醜いものは共感されにくい。被害者よりも加害者は共感されにくい。味方よりも敵は共感されにくい。“共感されない人に対して、共感だけに頼ってはいは、誰の善意もその人にたどり着くことはできない。”

繋がりや共感の輪があれば同時に、そのなかにはいない人、いられない人、本当はいたくない人もたくさん存在することになる。共生社会とはひとつの色でもなければ、ひとつのかたちでもなく、ときには「取り残される」自由さえも担保されていなければならない。少なくとも、そういう混沌から始まらなければならない。

これはまた別の本の話だが、ボーア戦争で初めて有刺鉄線が軍事利用されたとき、リヴィエル・ネッツという人がそれについて所感を書いている(らしい)。「接続は、それと直交する方向に切断を生む」。『共感という病』を読みながら、この言葉をたびたび思い出した。(増山)



『共感という病』  
永井陽右著 (かんき出版)



### ◎編集後記◎

今年はオープンで蒸し焼きにされるような灼熱の暑さですね。

台風が来そうな気配もなく、猫のいる我が家は24時間365日？エアコンフル稼働(泣) 世界陸上の有名パーソナリティーが『地球に生まれてよかったあ〜!!』の名言で最終出演を締めくくっていましたが、いつまでもそう思える地球上の乗組員でありたいです。 宮古/Y・O

編集：公益社団法人 沖縄県精神保健福祉会連合会

会長 山田 圭吾

〒901-1104

沖縄県島尻郡南風原町字宮平 206-1

てるしのワークセンター内

電話 098-889-4011 FAX 098-888-5655

E-mail [terushino@castle.ocn.ne.jp](mailto:terushino@castle.ocn.ne.jp)

発行：九州障害者定期刊行物協会

〒812-0044

福岡市博多区千代 4-29-24 三原第3ビル3F

電話 092-753-9722 FAX 092-753-9723

定価：10円 (会費に含まれる)

沖福連 精神保健福祉研修会 “家族大会2022”

# 精神科医 樺沢紫苑 講演会

## × 障がい者家族会



眠れなくても全然オッケー! 【精神科医・樺沢紫苑】  
再発予防が9割! 【精神科医・樺沢紫苑】  
病気を治す、唯一の方法 【精神科医・樺沢紫苑】



どなたでも**無料**で  
ご参加いただけます  
が、事前のお申し込み  
が必要です。  
(詳しくは裏面)



(※オンライン配信あり)

## 西原町さわふじ未来ホール

# 2022.10.21 (金)

会場住所: 西原町字小波津555

## 14:00-16:50

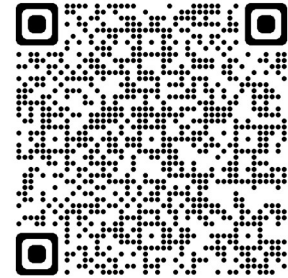
(受付開始13:30~)

### 【樺沢先生とはどんな人?】

精神科医。累計発行部数200万部突破のベストセラー作家で、またインターネット動画Youtubeのチャンネルでは35万人を超えるフォロワーを有します。  
(著作に『ストレスフリー超大全』、『毎日を楽しめる人の考え方』、『精神科医が見つめた3つの幸福』他多数)

# コロナ禍に おける心身 の健康をと もに考える

イベントの参加  
お申し込みはこちらから



沖福連のホームページからも  
お申し込みいただけます  
(www.okifukuren.org)

## 【イベント内容】

大会テーマ『終わらないコロナ禍を豊かに変えるために』

- ① 精神科医・かばさわ しおん樺沢紫苑先生による講演会と質疑応答  
(質疑応答を含み、約2時間)
- ② 県内障がい者家族会からのビデオメッセージ紹介  
(約30分)



読谷村の家族会は



※会場（さわふじ未来ホール）の定員は通常約500席ありますが、  
コロナの状況により人数制限の行なわれる場合があります。会場の  
収容定員を超えた場合は沖福連会員を優先とし、その他の会場参加  
者については申し込み先着順といたします。どうぞご了承ください。

## 【お問い合わせ・連絡先】

公益社団法人 沖縄県精神保健福祉会  
(担当：ましやま、ひが)

TEL. 098-889-4011 FAX. 098-888-5655

メール：sienn0804@yahoo.co.jp

赤い羽根共同募金



このイベントは赤い羽根共同募金の  
助成を受け、実施しています。

🔍 沖福連

×

